

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回小牧市市民活動促進委員会				
開催日時	令和3年5月11日（火）午後1時30分から午後3時30分まで				
開催場所	小牧市役所東庁舎 本会議用控室				
出席者	<b>【委員】</b> 秦野委員長、三島副委員長、戸成委員、伊藤委員、西村委員、丹羽委員、堀尾委員 <b>【事務局】</b> 伊藤課長、大塚係長、溝畑				
欠席者	<b>【委員】</b> 星野委員、竹中委員、藤本委員				
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	傍聴定員	5名	傍聴人数	0名
会議次第	<b>【内容】</b> 1 開会 2 委嘱状交付 3 市民活動促進委員会の位置づけと役割 4 正副委員長選任 5 令和3年度市民活動事業計画について 6 市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金について 7 令和2年度小牧市市民活動助成金実績報告会について 8 令和3年度小牧市市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金企画提案発表会について 9 令和3年度小牧市市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金審査について 10 協働提案事業化制度について 11 その他 12 閉会				
問合せ先	小牧市健康生きがい支え合い推進部支え合い協働推進課市民協働係 電話番号（0568）76-1629（直通） ファックス番号（0568）75-8283				

## 会 議 内 容

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 市民活動促進委員会の位置づけと役割

### 4 正副委員長選任

#### (事務局)

小牧市市民活動推進条例施行規則第2条の規定により、委員長、副委員長は委員の互選によることとされているが、いかがであるか。

#### (戸成委員)

委員長に秦野委員を推薦したい。秦野委員は、NPO法人こまき市民活動ネットワークの代表理事ということで、小牧における活動については一番課題を把握されている。そのため、当委員会の委員長には、秦野委員が適任かと思う。

副委員長には三島委員を推薦したい。三島委員は、先駆的なNPO法人であるボランティアネイバーズの副理事長・調査研究部長としてご活躍で、様々な自治体の事例に精通しており、中立的な立場での意見をいただけると思われるため、副委員長には三島委員が適任かと思う。

#### (事務局)

ただいま戸成委員より、委員長として秦野委員を、副委員長として三島委員を推すとのことが発言があったがいかがであるか。

—異議なしの声—

ご異議がないので、委員長は秦野委員に、副委員長は三島委員にお願いしたい。

それでは、ここで正副委員長よりご挨拶をお願いしたい。

#### (秦野委員長)

小牧市市民活動促進委員会には6年ほど関わっており、市民活動の様々な悩みを読み解いてきたつもりだが、なかなか思うように進まないのが現状だ。いろいろな課題を解決しなければならない。コロナ禍で、さらに身に染みている。市民を支えることがこの委員会の役目と感じている。皆様の忌憚のない意見を聞きながら進めていきたい。2年間よろしくお願いしたい。

#### (三島副委員長)

私も長いことこの委員会に参加しているが、議論は移り変わっていると思っている。市民交流テラスを開設し、小牧市の市民活動はより幅を広げる契機にある。協働も、一担当課と一団体ということだけでなく、課題解決のためにどのような機関の組み合

わせがあるのかの発展を考える段階にあり、この委員会の役割は重要だと思っている。小牧のことはまだまだ勉強不足であると思っているので、皆様に教えていただきながら、この委員会で議論し、それが反映されていくようにする場にしていけたらと思っている。よろしくお願ひしたい。

## 5 令和3年度市民活動推進事業計画について

※資料5に基づき事務局より説明

(西村委員)

説明のあった事業全てについて、この委員会が絡むのか。

(事務局)

全てが絡むわけではないが、市民活動施策の調査審議を行うことが委員会の役割であるので、本市の状況を知っていただくため説明したものである。

(伊藤委員)

2市3町連携事業のフォーラムを通じて立ち上がった団体というのはどれくらいの数か、わかればお聞きしたい。

(事務局)

2事例だったと記憶しており、防災関係のものと、地域ブランドのブラッシュアップの取組みだったが、現在は活動しているかは把握していない。

(堀尾委員)

協働のまちづくり実務者会議のスケジュールがあるが、この委員会も参加するものか。

(事務局)

実務者会議は、行政職員の横断組織となっている。

協働提案事業公開ヒアリングの際には、市民目線として市民活動促進委員会の委員により、行政目線として実務者会議の委員により、多角的視点による審査を行う。

(三島委員)

質問ではないが、協働のまちづくり実務者会議とは、協働提案事業の審査で我々とは見方が違う部分もあり、勉強になっている。実務者会議の第5回以降には次の年に実施する協働提案募集に関する協議などを行うとなっているので、差し支えなければどのような議論があったか、どのような協働のタネがあるのかを促進委員会にも報告していただき、議論できたらいいと思っている。

(事務局)

実務者会議のあり方については課題を抱えている。実務者会議を機能させるように

考えていきたい。

## 6 市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金について

※資料6に基づき事務局より説明

(西村委員)

例えば、市民活動助成金のつなげる部門の助成金額は上限が20万円ということだが、これは1年につき20万円ということによいか。また、補助率も、1年目が経費の80パーセント以内、2年目が経費の70パーセント以内ということか。

(事務局)

そうである。例えば、助成対象経費が毎年20万円であれば、1年目はその80パーセントの16万円、2年目はその70パーセントの14万円が助成される。経費が30万円の場合、1年目は80パーセントが24万円となるため、上限の20万円が助成されるということ。

(西村委員)

地域に還元チャレンジ助成金は、上限が5万円だが、他の助成金を5万円をもらっていると、この助成金はもらえないのか。

(事務局)

他の補助を5万円もらっている場合で、活動費が5万円である場合は、地域に還元チャレンジ助成金の申請はできない。しかし、活動費が10万円であって、他の補助を5万円もらっている場合は、残りの5万円について、助成金の申請ができる。

## 7 令和2年度小牧市市民活動助成金実績報告会について

※緊急事態宣言に伴い、実績報告会は中止となったため、説明を省略

## 8 令和3年度小牧市市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金企画提案発表会について

## 9 令和3年度小牧市市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金審査について

※緊急事態宣言に伴い、企画提案発表会は中止となったため、代わりに書面審査とする旨説明。

(秦野会長)

委員それぞれの質問とそれに対する団体からの回答は、全委員が共有できる形となるか。

(事務局)

そのような形とする。

(伊藤委員)

最後に委員会としての結論を出す部分については、リモート会議か何かで意見交換できるようにしてはどうか。

(事務局)

委員全員がオンラインの環境を整えられるのかという問題があるが、どうか。

(戸成委員)

オンラインの環境がない委員については、市役所に来てオンラインで参加するというのはどうか。

(事務局)

オンラインの環境を整えられない委員はいらっしゃるか。

2人ですね。

お二人はご足労いただけるか。

(委員2人)

可能。

(事務局)

では、そのように調整させていただく。

(三島副委員長)

委員それぞれの質問がたくさんになると、団体にも負担となるので、事務局で質問をまとめてもらえるとよいと思うが。

(事務局)

質問をまとめた上で団体に送る予定。

はじめての委員もいらっしゃるので、この場で簡単に各団体の申請内容について協議してもよいと思っている。

(秦野会長)

では、先に10の説明をお願いします。

## 10 協働提案事業化制度について

※資料10に基づき事務局より説明

資料10の1ページ4行目の15事業とあるのは、16事業に訂正させていただく。

(秦野会長)

では、助成金の申請書類について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

※助成金の申請書類について説明

## 11 その他

※助成金の書面審査用のデータを追ってお送りする旨を事務局より連絡

以上